深川東京モダン館だより

fukagawa tokyo modankan news

主催 おきがる講座

10 月 12 日 (火)

①13：00~ 14：30　②15：00~ 16：30

渋沢栄一ゆかりの人々5　**一橋 慶喜** 再

※2021 年2 月26 日の回と同内容

受講料:各回500円
定員:各回20名(要予約)
講師：龍澤　潤(深川東京モダン館)

※10月5日（火）10時から電話で予約受付開始

キッチン松ぼっくり

10月14日(木)11:30〜

秋野菜カレー
豆腐のマリネ
ぶどうジュースゼリー

700 円

サイドメニュー 揚げパンは ＋50円

給食の懐かしい味！

※完売次第、閉店いたします　※ご予約はできません

※当館の催しもののご予約は　10時から　お電話 03-5639-1776　まで

10 月のカレンダー　催し物の詳細は 2 面をご覧ください

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4 休館日	5	6	7	8	9	10
11 休館日	12 おきがる講座	13	14 キッチン松ぼっくり 営業日	15	16 ふかにこファクトリー	17
18 休館日	19	20	21	22	23 講談会	24 圓橘の会
25 休館日	26 噺＋話	27	28	29	30	31

開館時間　10：00-18：00（金・土曜日は 19 時まで）

10月の催し

共催

ふかにこファクトリー

10月16日 (土) ①11:00〜12:00 ②13:00〜14:00

リトミック要素を取り入れたミニコンサートと
親子で一緒に楽しめる簡単な作品を作ります

大人 700 円 子ども 300 円　大人子ども合わせて各回18人　**※10月5日（火）10時から受付開始**

共催

モダン講談会

10月23日(土)14:30〜（開場14:00）

女流競艶講談会

予約・当日 一般:3,000円 小〜高校生:1, 500円

※10月5日（火）10時から受付開始

神田 莉々子
神田 陽菜
神田 ひとみ「渋沢栄一・篤二親子の絆」
神田 桜子
神田 陽子
- 仲入り -
ゲスト：旭堂 鱗林
神田 紫

後援　一般社団法人日本講談普及協会・日本講談協会

共催 第393回

圓橘の会

10月24日(日)15:00〜（開場14:30）

※日曜日です。ご注意ください

三遊亭圓橘・萬丸

廓話「付き馬」　“マムシが這い出るのはきまってうららかな日だ”
シェイクスピア『ジュリアス・シーザー』より

岡本綺堂作「不孝者」　“美しいものはたちまち滅びるのだ”
シェイクスピア『夏の夜の夢』より

予約 2,500円　当日 2,800円　定員:50名　**※10月15日（金）10時から受付開始**

共催

噺 ＋ 話

10月26日(火)14:00〜（開場13:30）

おきがる講座と落語会モダン亭のコラボ

三遊亭歌扇「締め込み」
＋龍澤潤「演題にちなんだ話」

予約・当日 1,500円　定員：20 名　**※10月15日（金）10時から受付開始**

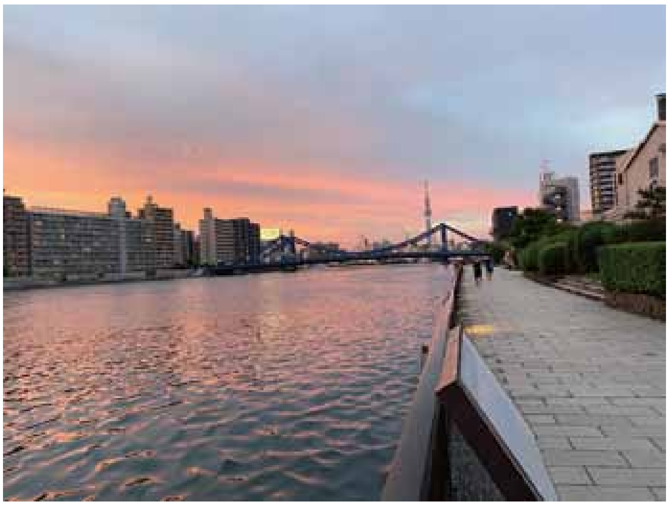
※当館の催しもののご予約は　10時から　お電話 03-5639-1776　まで

●お客様へのお願い
・次に該当するお客様のご来場は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。
37.5度以上の発熱があるお客様　咳、喉の痛み等の症状があるお客様
過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴があるお客様
・マスクを着用でないお客様のご入場はご遠慮いただきます。咳エチケットにご協力をお願いいたします。
・手洗いと手指消毒にご協力をお願いいたします。
・催し物にご参加されるお客様には、氏名・連絡先等を確認させていただく場合がございます。

モダン館ボランティアガイドだより⑱

たそがれどき

秋の日は釣瓶落とし・・・日暮れが早まり夕暮れの時間が印象的になってきます。夕暮れ時のことを黄昏時（たそがれどき）とも言います。まだ電気のない時代、薄暗くなり相手の顔の見分けがつきにくく「あなたは誰ですか？」と問いかける時間帯ということで「たそがれ」になったと言われてます。**誰ぞ彼（たれぞかれ)→たそがれ→黄昏時**　漢字で「黄昏」と書くのは、当て字のようです。同様に、明け方の事を「かわたれ時」と言います。黄昏時と同じように、**彼は誰ぞ（かわたれぞ)→かわたれ→かわたれ時**　こちらも人の顔が区別がつきにくい時という意味で、漢字で書く場合は「彼は誰時」と書きます。夕方は「誰ぞ彼」が語源、明け方は「彼は誰ぞ」が語源。ちょっと混乱してしまいそうですがどちらも趣のある美しい言葉ですね。また「たそがれ」は太陽の盛りが過ぎ沈んでいく頃を表現する言葉のため「盛りの時期が過ぎて衰えの見えだした頃」を指します。



たそがれの隅田川

「逢魔が時」という言葉を知っていますか？「おうまがとき」と読みます。

夕日が沈んで空が暗くなっていく時間帯のこと。昼と夜の移り変わる時刻、黄昏時の事で古くは「暮六つ」や「酉(とり)の刻」とも言い、現在の 18 時頃この頃夕日が徐々に沈み、藍色の暗い空が広がり始める時間帯。「逢魔が時」は読んで字のごとく「魔に出逢うとき」です。「魔物が出る不吉な時間」というニュアンスが強いですが黄昏時の空から赤みが消えかかる神秘的な時間とも捉えることができます。あまり馴染みのない言葉かもしれませんが、意味や由来を知ると趣を感じられる言葉です。

また、英語で黄昏時は「トワイライト（twilight)」twi はツインの「２つ」light が「光」の意味があります。２つの光とはつまり「太陽と月」この２つの光が交代する時間という意味です。日本語も英語もどちらもステキな語源ですね。

こんな秋の日の黄昏時はあっという間に過ぎてしまう人恋しくさせる時間帯、誰ぞ彼（たそがれ）の隅田川の川辺を風に吹かれてそぞろ歩いてみてはいかがですか。

（文と写真　江東区文化観光ガイド　吉川　光代）

江東区文化観光ガイドによる**モダン館周辺のまちあるきツアー**（1時間程度、11:00・14:00出発）は**現在中止しております**。再開についてはWEBサイトでお知らせいたします。
www.fukagawatokyo.com

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室（20㎡）

利用日時：開館日時　利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース（80㎡）

利用日時：開館日時　利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等

多目的スペース

会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- 『江東区の文化財』各地域
- 江東区観光キャラクター　コトミちゃんグッズ各種（ぬいぐるみ、缶バッジ、マフラータオル　ほか）
- 江東区の名所を描いた絵はがき（水彩・切絵・写真など）
- ビニール製マスク入れ
- もくレース
- 深川めしの素
- ちくま味噌　甘酒
- コースター
- ゲイシャコーヒー
- Tシャツ等

絵はがき　清澄庭園・深川　各500円

百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております。ホットコーヒー「小樽」「ベイキャメル」そして「モダン館ブレンド」（しっかり・すっきり）の 4 種類をご用意しております。

まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。

開館日および開館時間

10：00-18：00（金・土曜日は19：00まで）

休館日：月曜日

（月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります）

「深川東京モダン館だより」第103号（2021年9月24日）
発行　（一社）江東区観光協会　深川東京モダン館
〒135-0048　東京都江東区門前仲町1-19-15
TEL 03-5639-1776　FAX 03-5620-1632
Mail info@fukagawatokyo.com
ホームページ www.fukagawatokyo.com